

次期一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について

【目次】

1. 次期「いわき市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(案)の概要について 1
2. いわき市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(R3～R12)施策の体系 2

次期「いわき市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（案）の概要について

I 策定の趣旨

本市においては、平成22年度に策定（計画期間：平成23～令和2年度）、平成27年度に一部改定した「いわき市一般廃棄物処理基本計画」（以下、前計画）に基づき、3R（リデュース・リユース・リサイクル）施策の実施等によるごみの減量・資源化及びごみの適正処理を進めているところである。

前計画が令和2年度末に計画期間を終えることから、市民・事業者・行政が一体となった取組みを推進し、循環型社会の形成を目指し、長期的な視点に基づき新たな計画の策定を行うものである。

策定にあたっては、前計画における実績等を踏まえ、ビジョンや方向性を承継しつつ、「ごみ」に対する方針をシンプルかつ分かりやすくまとめ、市民に広く浸透しやすい、実行性の高い計画とするとともに、食品ロス等の社会問題への対応方針等を明記し、時代に対応した計画とする。

- 目指すべき将来の姿（ビジョン）：「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」
- 計画期間：令和3年度～令和12年度（10年間）

※概ね5年後を目途に中間見直しを行う。

II 前計画の総括

1 前計画期間で実施した主な施策

【家庭系ごみ施策】

- ・搬入ごみに係る処理手数料の100kg以下無料化を廃止（H23年度）
- ・「製品プラスチック」の分別区分を一部変更（H23年度）
- ・ごみの分け方出し方ハンドブックのリニューアル（H27年度）
- ・ごみ分別アプリの配信（H29年度）

【事業系ごみ施策】

- ・「かん類・ペットボトル」「びん類」「容器包装プラ」の事業系一般廃棄物を産業廃棄物へ区分変更（H23年度）

【リサイクル施策】

- ・清掃センター飛灰の一部リサイクル再開（H26年度）
- ・清掃センター主灰・飛灰のリサイクル拡大（H27年度）
- ・清掃センター主灰・飛灰の全量リサイクル（H30年度）

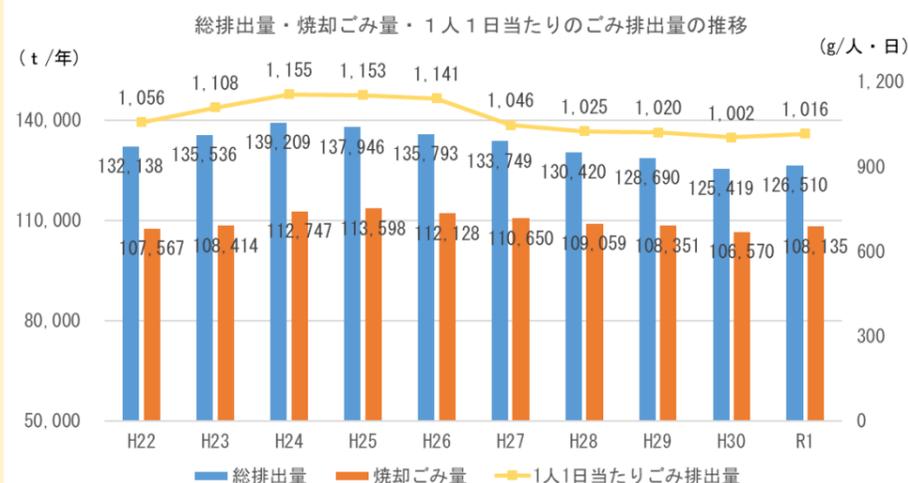
※（ ）内は、実施開始年度

2 前計画の基本目標の達成状況

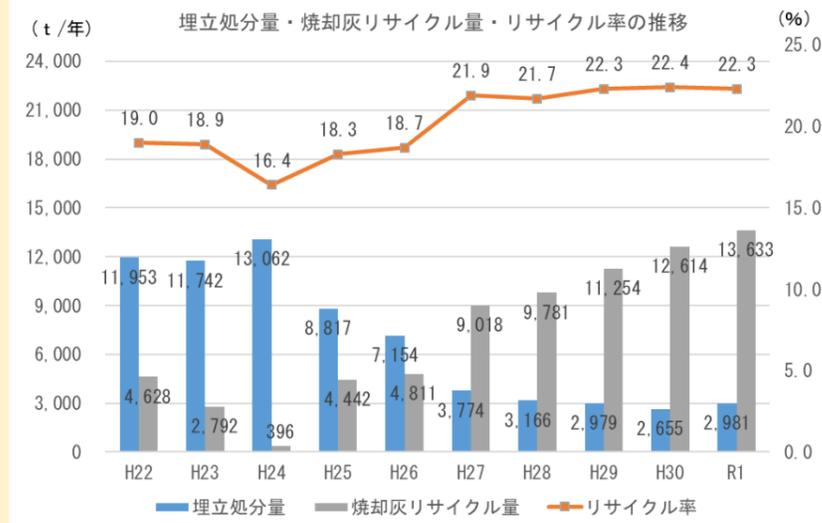
指標名	実績値 (H26年度)	目標値	実績値 (R1年度)	達成度	中核市平均 (H30年度)
1人1日当たりごみ排出量	1,067g/人・日	950g/人・日	1,016g/人・日	43.6%	946g/人・日
焼却ごみ量	112,128t/年	95,000t/年	108,135t/年	23.3%	—
埋立処分量	7,154t/年	5,000t/年	2,981t/年	193.7%	—
リサイクル率	18.7%	24%以上	22.3%	67.9%	17.6%
ごみ処理総費用	34億2千万円	△1割	34億600万円	4.1%	—

※ごみ処理総費用（施設整備に関する原価償却を除く）の実績値は、H30年度実績値。

【総排出量・焼却ごみ量・1人1日当たりのごみ排出量の推移】



【埋立処分量・焼却灰リサイクル量・リサイクル率の推移】



- ・「1日1人当たりごみ排出量」及び「焼却ごみ量」は、東日本大震災以前は、減少傾向にあったが大震災を機に複数年に渡り増加したこと及びその後、減少に転じたが、R1年度東日本台風等により再び増加したこと等により、目標値に達することはできず、中核市平均も上回っている。
- ・「埋立処分量」は、焼却灰のリサイクルを推進した結果、大きく減少し、目標値を大幅に達成している。
- ・「リサイクル率」は、焼却灰のリサイクルを拡大したH27年度に18.7%から21.9%に大幅に増加し中核市平均を上回っているが、ペーパーレス化等の影響で、その後は横ばいで推移しており、目標値を達成していない。
- ・ごみ処理総費用は、清掃センターの2場体制を維持することとしているため、例年34億円付近で推移しており、目標値を達成していない。

III ごみ処理の課題

【いわき市の状況】

中核市平均を上回る1人1日当たりのごみ排出量

リサイクル率の停滞

ごみ処理施設の老朽化

【国内外の動向】

- ・SDGs（持続可能な開発目標）
- ・第四次循環型社会形成推進基本計画
- ・食品ロス削減推進法

多発する自然災害

◎次期計画で取り組むべき課題

食品ロスをはじめとしたごみ発生抑制の推進（リデュース）

更なるごみ資源化による循環型社会の推進（リサイクル）

災害等にも強い安定的な処理体制の確保

IV ごみ処理基本計画の目指すべき将来像と施策体系

「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」を具現化するため、「ごみ減量の更なる推進」をはじめとした「減量・リサイクル」に取り組むとともに安定的・効率的なごみ処理の構築に向けた施策を展開していく。
3つの主要な施策の下に8つの施策を設定し、計画の目標達成に向けて取組みを進める。

目指すべき将来像 「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」

取組の柱1 ごみ減量の更なる推進

主要な施策1 家庭系ごみ減量の推進

主要な施策2 事業系ごみ減量の推進

重点プロジェクト 少量排出事業者の3Rの推進

主要な施策3 食品ロス削減の推進

取組の柱2 ごみの適正処理による資源循環型社会の推進

主要な施策4 リサイクルの推進

重点プロジェクト 焼却ごみ減量に向けたリサイクルの推進

主要な施策5 分別の徹底

取組の柱3 安定的・効率的なごみ処理体制の構築

主要な施策6 安定的なごみ処理体制の整備

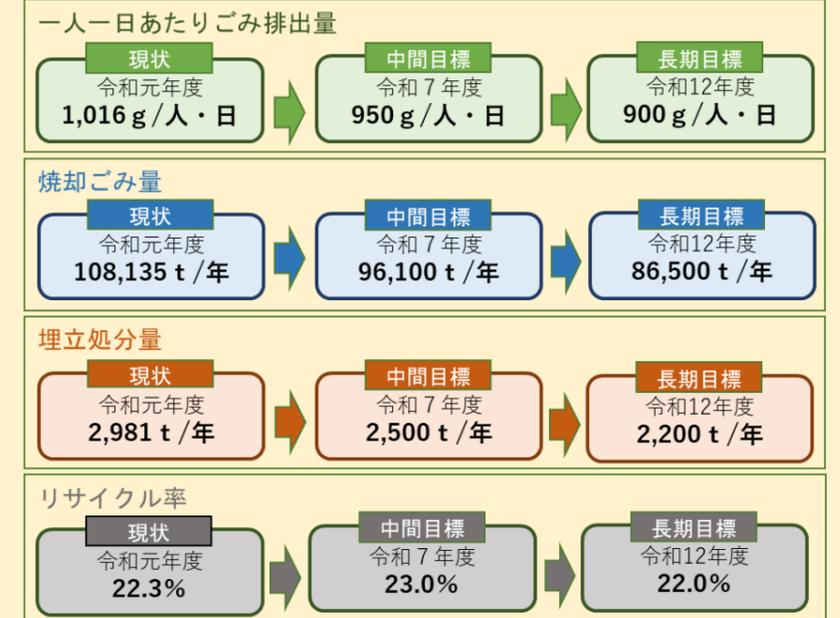
重点プロジェクト 新たな一般廃棄物処理施設の整備に向けた調査・検討

主要な施策7 効率的なごみ処理の推進

主要な施策8 災害廃棄物の処理体制の整備

重点プロジェクト 災害廃棄物の円滑な処理体制の整備

V ごみ処理基本計画の目標値



※「ごみ処理総費用」の目標値については、次期計画期間内は、清掃センターの2場体制を維持する方針のため、削除する。

目指すべき将来の姿
 「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」（現行計画からの継続）

○将来像を実現するための施策

取組の柱	主要な施策	施策
I ごみ減量の更なる推進 発生する「ごみ」への対策方針	○家庭系ごみ減量の推進	生ごみ発生・排出の抑制 継続
		リユースの推進 新規
		環境意識の高揚 継続
	○事業系ごみ減量の推進 重点プロジェクト	多量排出事業者に対する指導 継続
		少量排出事業者の3Rの推進 新規
		事業系ごみの適正排出の徹底 継続
○食品ロス削減の推進	食品ロスの削減に向けた取組 新規	
II ごみの適正処理による資源循環型社会の推進 発生した「ごみ」への対策方針	○リサイクルの推進 重点プロジェクト	埋立ごみゼロへ向けたリサイクル処理の推進 継続
		焼却ごみ減量に向けたリサイクル処理の推進 新規
	○分別の徹底	ごみ分別の徹底 継続
III 安定的・効率的なごみ処理体制の構築 安定的な処理体制へ向けた方針	○安定的なごみ処理体制の整備 重点プロジェクト	処理施設の長寿命化 継続
		新たな一般廃棄物処理施設の整備に向けた調査・検討 新規
		処理困難物の適正処理に向けた調査・検討 継続
	○効率的なごみ処理の推進	一般廃棄物会計基準によるコスト分析 継続
		効率的なごみ処理の検討 継続
○災害廃棄物の処理体制の整備 重点プロジェクト	災害廃棄物の円滑な処理体制の整備 新規	

○その他必要な事項

その他	○ごみ処理手数料のあり方の検討	収集手数料の徴収の検討 継続
		焼却処理（搬入）手数料の見直しの検討 継続
	○社会問題への対応	ごみ出し困難者への対応 新規